

2017 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [木津川市立木津南中学校] 担当教諭名 [宮原 麻美] (美術部 19名)

相手国・地域 [ネパール]

海外学校名 [Shikharapur Community School] 担当教諭名 [Susmita Sunar]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	部活動	アートマイルプロジェクトで世界につながろう	70

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	“Our classroom: Connecting Our Hearts”
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	想像上の教室では、日本とネパールの生徒たちが一緒に勉強したり、話をしたりします。国や文化が違って同じ年代の中学生として心がつながっていく様子を表現したいと思いました。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
・今年度も関西セミナーに参加し、相互交流の大切さを学んだ。JICA の方がサポーターとして入ってくださった。ネパールは経済的にも困難な生徒もおり、美術という教科も無いので、色のぬり方や制作の注意点などを You-tube 動画で送った。そういう配慮を意識できたのは良かったと思う。	・フォーラムでのやりとりが主だったが、なかなか相手側の反応が無く、こちらあまり写真等を送れず、相手側もしばらく投稿が無かったので、制作中の様子がよくわからなかった。ほぼ同じ人数だったのでペアを決めたが、送ったカードに返事の無い子もいて、家庭状況も様々だからと説明したが、残念がっていた。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
自分の国であたりまえな事が、他の国ではそうではないという事を学べたと思う。そんな厳しい状況の中でも、相手側が素晴らしい作品を仕上げてくれて、喜んでいました。	JICA の方が間に入ってくくださったので、例年に比べて日本語で質問等もでき気持ち的に楽だったが、担当の方がご病気で急に帰国される事になり、代役の方もおられず、スカイプ会議についての連絡がなかなか取れず困った。最初からあまり甘えず、相手と直接連絡を頻繁に取れば良かった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月 10月	ネームカードを作り、自己紹介カードの下書きに取りかかったが、英訳して清書するのに時間がかかった。自己紹介カードと自作の絵を描き、写真と一緒にフォーラムに載せた。	フォーラムの相手校の自己紹介を嬉しそうに見ていた。あまりなじみの無い国だからこそ、新鮮だったようだ。	部活動
共有 テーマ学習	9月 ～ 11月	ネパールについてテーマを分担し、調べ学習をして発表しあった。JICAの方からのプレゼンを見て相手の国の歴史や伝統文化と共に普段の学校生活に興味を持った。	図書館には資料があまり無く、主にネットで調べた。JICAの方からのプレゼンを見て相手の国の学校生活の様子や、文化に興味深そうに見ていた。	部活動
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月 ～ 3月	アイデアスケッチを出し合い、良かったものから構図を決めていった。絵の中に自分たちを描く表現方法を工夫した。色の塗り方の動画を数本撮ってYou-tubeで送った。	自分たちのアイデアを組み合わせるのが楽しそうだった。色の塗り方や注意の動画作りもアイデアを出し合い、撮影した。	部活動
創造 壁画制作	11月 12月	12月は休日のほとんどを壁画制作にあてた。まとまった時間がとれて、制作も早く進んだ。	初めてテントアートで色塗りをする1年生も、発色の美しさや塗りやすさを楽しんでいた。上級生がグラデーションの塗り方などを教えていた。	部活動
評価 振り返り 自己評価	3月 4月	送られてきた壁画を展示した。スカイプ会議に向けて色々な準備を分担して行った。始業式に壁画を紹介するためのリハーサルを行った。	送られてきた壁画や、相手の制作中の写真を見て感慨深そうだった。スカイプに向けての活動や学校内での紹介など、いつもと違う活動に頑張って取り組んだ。	部活動

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	3	日本的なものを考え、図書館で探したが、深めるところまではいかなかったと思う。
異文化を理解する力	4	今まであまり情報の無かったネパールについて、同世代に向けての視点から知る事ができた。個々にもっと交流できたら面白かったと思う。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	3	PC室の利用が中々できず、知的好奇心をすぐに満たす事ができにくかった。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	心を込めてメッセージカードを作り、相手から送られてきたカードもできるだけ自分で翻訳し、全体に紹介した。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	2	相手に対する興味が湧いてきたところで、まだまだ自国との比較や客観的な視点を持つのは難しかったと思う。
主体的に考え行動する力	4	前年度経験した上級生が、自分なりに考えて、下級生にいろいろアドバイスをしていた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	上級生と下級生でチームを作り、協力して制作を進められた。海外の相手もこちらの意図をよく理解して、完成させてくれていた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	自分たちの想いを形にするために、構図も粘り強く考えて決めていた。何をどう描くか、チームで相談して工夫していた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	3	4月のスカイプ会議の後に鑑賞&感想交流をするつもりなので、まだ評価できません。